

# 魚沼民商だより

2021年  
1月  
25日

第2235号

〒946-0032

発行 魚沼民主商工会  
新潟県魚沼市板木  
電話 025(792)3064  
e-mail:uminsyo@rose.ocn.ne.jp

「コロナ危機打開を！ 緊急署名  
をもとに、話し合おう！」

## 新春のつどいを開催！



1月17日、たもん荘さんにて、「2021年・新春の集い」が盛況に執り行われました。当日、コロナ感染症対策をキチンと取りながら、今回は人数制限と会食なしの開催となりました。参加者は22人でした。

主催者の高橋春治会長は、「(商工新聞1月18日付の記事に触れながら)コロナから国民生活と私たち自営業者の営業と暮らしを守つて行くには、即、消費税率10%を5%に引き下げることです。消費税減税は世界の流れとなつており、50カ国の中や地域で実施、予定しています。みなさんから、この緊急署名を総選挙に活かし、政権交代に結び付け、消費税減税を現実のモノにして行きましょう。その為にも、ドンドン対話を広げ、仲間も増やしていきましょう」と熱い年頭の挨拶が行われました。

その後に、水澤行雄共済会理事長の挨拶、横山美代子婦人部長の挨拶、須田局長の春の運動方針提起へと流れていきました。

この場で、秋の拡大顕彰が行われ、みごと年間増勢を果たした広神支部は、読者で1名超過、会員で2名超過と顕彰されました。そして同会の講座「経営と暮らしの交流」では、国の持続化給付金(12月末迄の集計)について、支部ごとの実績状況と、全県民商の実績状況とともに、この一年間を振り返り、私たちが取り組んできた活動を検証し、この地域にどういう民商が求められているのか、参加者のみなさんと一緒に考えて行きました。

この講座のコーディネーターを務めた中澤俊彦副会長は、「この実績状況を見ますと、十日町民商の同給付金申請の会員比率がもっと高く、県内民商の中でもトップです。私たちの民商はどう違うのでしょうか。また同民商は、昨秋の全商連総会にて、読者と会員の前総会時現勢を増勢で迎えていました。やはり、執念を持つて、コロナ支援制度を会員拡大に結び付けてきたことの結果だと思います」

これから、私たち民商は、「緊急署名をもとに、経営と暮らしを守る活動が始まります。

## 六日町支部・事業継承セミナーを開きました！

この時期、自治体・金融機関・業界団体にて、専門家を招いて「事業継承セミナー」のキャンペーンが行われています。この取り組みは民商の得意分野です。



1月16日、六日町支部は、若手の上村健悟さんを実行委員長とする「事業継承セミナー」を華福さんにて開催、5人(建築、自動車、金塗装・鉄工所・シャッター・飲食店)が参加しました。この日、特別ゲストとして、今井眞一支部長が応援に駆け付けてくださいました。

主催者の上村さんは、「昨春から親の仕事について、随分と悩んでいました。おもにネットとなつてているのは、建設業の許可について



会費は月内納入を  
宜しくお願い致します

## 塩沢支部・もう既に税金申告モードです！

1月13日、塩沢支部は、ロッヂワンダスリーさんにて、一足早く消費税申告作成セミナーを開きました。参加者4人でした。

主催者の中澤支部長は、まず全体会で大まかな制度の説明を行ない、それから自前の消費税申告計算ソフトを用いて、参加者一人ひとりに親切丁寧に応対していました。

参加者から、「消費税計算は本当に難しいし、理解に苦しむよ」「シユミレーションしてみると、とんでもない金額になった。こんなのが払えないよ」など、悲鳴に近い声が寄せられました。この同セミナー（計算会）にて、消費税申告者で無い方も計算してみる価値はあると思いました。



## 大和支部・日々の記帳活動で経営が見えてきた！

1月14日、大和支部パソコン教室が大崎農業会館にて、開かれました。参加者のみなさん、最初は初心



## 3・13重税反対全国統一行動小千谷魚沼集会！

毎年行われる、3・13重税反対全国統一行動小千谷魚沼集会は、一人ひとりが主権者意識を持って参加し、納税者の権利行使し、自主申告を貫いてきました。



事務所の来所の際には、事前にご連絡ください

昼以降から事務局員が事務所不在の時間が増えていています。ご迷惑をおかけすることに大変申しわけ御座いません。ご相談等で来所する際は、必ず事前にご連絡くださいますよう宜しくお願い致します。

## 自治体要請の日程！

日時	3月12日(金)	13時00分
会場	小千谷サンプラザ	
会場	南魚沼市	

日時	1月26日(火)	15時00分
会場	南魚沼市本庁内	
会場	魚沼市役所内	

## 朗報です！持続化給付金申請が期限延長しました

持続化給付金・家賃支援給付金の申請期限が、世論と運動に押され、2月15日(月)まで延長されることになりました。

【注意】1月末迄に、必要な書類の用意が難しいと申込みが必要です。

者たつたので、パソコンのキーボードを打つことさえ出来なかつた方が、今では経営に対する意欲をもの凄く感じさせてくれています。欠かさず参加している山崎順子さんは、「最初は税金申告の為と思つてやりました。それが日々記帳することによって、現場の内容が分かり、お金の流れも分かり、特に資金繰りを気にするようになります。月毎の収支表（試算表）が出来れば、必ず事業主の机の上に収支表、請求書等を置き、今の現状を伝えている」と貴重な話を聞かせてくださいました。

今回もコロナ禍での開催となりますが、今年は総選挙の年です。納税者が政治参加する大切な決起の場となることから、「消費税減税、複数税率・インボイス制度廃止」などを訴え、世論を大きくする絶好の機会でもあります。ぜひ多くの参加者をお持ちしております。